

平成22年度 秋田河川国道事務所の事業概要について

平成22年度の秋田河川国道事務所の所管する事業について予算が決定したのでお知らせします。

予算の執行にあたっては、地域の資源、特性を活かした産業の自立・持続的な地域の実現を支える社会基盤整備を推進するとともに、自然災害に対する安全・安心の確保を図って参ります。

【予算概要】

平成22年度の工事関係費は、河川関係6億4,800万円、道路関係65億1,700万円、合計71億6,500万円の予算により事業を進めて参ります。

(※予算額は、本省記者発表の箇所票に記載している事業の合計額を示す。
また、業務取扱費を含まない。)

【主要事業】(別添資料添付)

平成22年度は、河川関係においては、雄物川・子吉川において河道掘削などの河川整備を推進します。また秋田かわまちづくりでは、三角沼周辺の整備を推進します。

道路関係では、規格の高い道路のネットワークの整備として、国道7号の自動車専用道路である象潟仁賀保道路や仁賀保本荘道路の整備促進、国道46号角館バイパスの
小勝田～雲然間の供用、月見堂地区の整備の促進をおこないます。現道の整備においては、国道7号下浜道路では設計、用地買収、工事を推進します。国道13号河辺拡幅においては工事推進、国道7号秋田南バイパス新屋地区の4車線化の舗装を推進します。
また秋田市土崎・仙北市卒田・にかほ市象潟の自歩道整備の他、大仙市協和の合貝交
差点改良整備促進を行います。

平成22年3月29日
国土交通省 秋田河川国道事務所

記者発表先《秋田県政記者会》

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 秋田河川国道事務所		
〒010-0951 秋田市山王一丁目10-29		
TEL 018(823)4167		
副 所 長 (河川)	高橋 淳	(内線204)
副 所 長 (道路)	佐藤 寿昭	(内線205)

参考資料

平成22年度 東北地方整備局 秋田河川国道事務所

事業概要

平成22年3月29日

・平成22年度秋田河川国道事務所の主要事業箇所

安全で安心できるちいきづくり

- 雄物川 黒瀬地区河道掘削……………参考資料1
- 子吉川 石脇地区河道掘削……………参考資料2
- 一般国道7号 土崎歩道……………参考資料3
- 一般国道46号 卒田荒町歩道……………参考資料4
- 一般国道7号 象潟歩道……………参考資料5
- 一般国道13号 合貝交差点改良……………参考資料6

強い秋田の創造

- 一般国道7号 象潟仁賀保道路……………参考資料7
- 一般国道7号 仁賀保本荘道路……………参考資料7
- 盛岡秋田道路 一般国道46号 角館バイパス……………参考資料8

魅力ある都市づくり

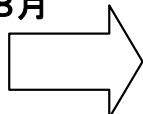
- 雄物川 秋田地区かわまちづくり……………参考資料9
- 一般国道7号 下浜バイパス……………参考資料10
- 一般国道7号 秋田南バイパス……………参考資料11
- 一般国道13号 河辺拡幅……………参考資料12

平成22年度 秋田河川国道事務所の主要事業箇所



事業名	雄物川下流 ^{くろせ} 黒瀬地区河道掘削 — 整備着手
事業概要	<p>流下能力の向上を目的に雄物川下流 黒瀬地区の河道掘削に着手します。</p> <p>当該地区は流下能力が不足しており、昭和62年8月洪水規模を安全に流下させることを目的とし、河道掘削に着手します。</p>
事業効果	<p>課題</p> <p>整備による効果</p>

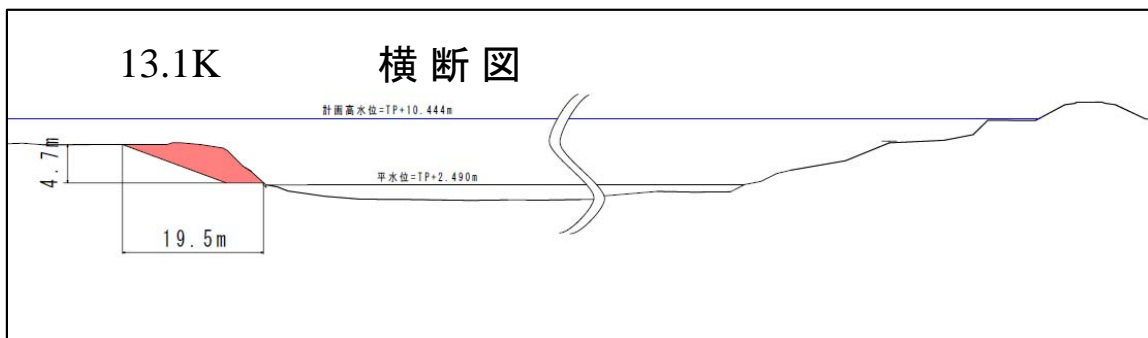
流下能力が不足していることから、昭和62年8月洪水規模を安全に流下させることができない。背後は県都秋田市であり人口資産が集中。



○昭和62年8月洪水規模を安全に流下させることができる。(他箇所の河道掘削等含む)
○上流まで水位低減効果があるため、広範囲にわたって治水安全度向上に寄与。

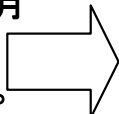


昭和62年8月洪水 黒瀬地区浸水状況

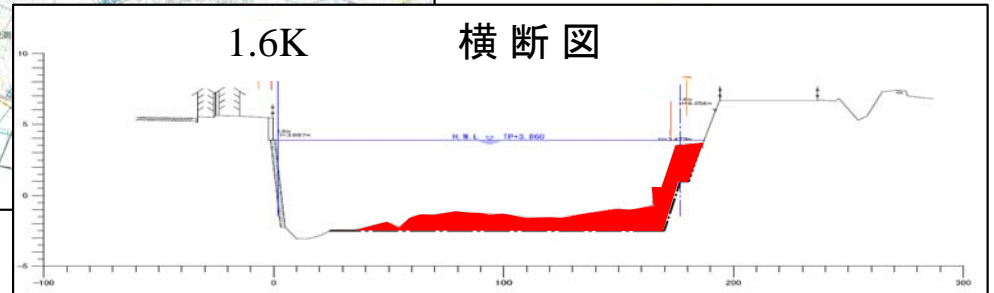
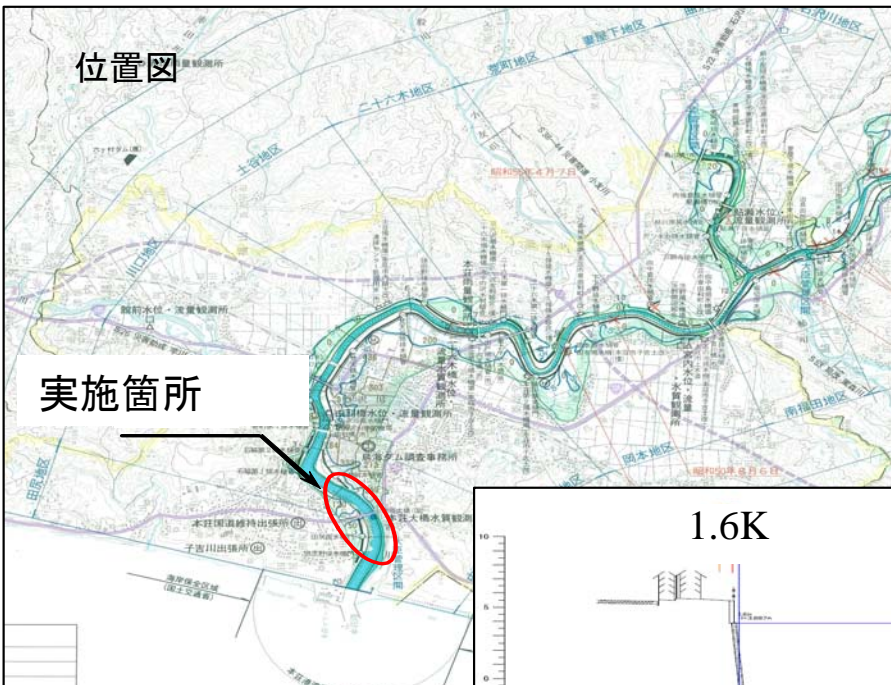


事業名	子吉川 ^{いしわか} 石脇地区河道掘削 — 整備推進
事業概要	<p>流下能力の向上を目的に子吉川 石脇地区の河道掘削を推進します。</p> <p>当該地区は流下能力が不足しており、由利本荘市市街地を洪水から守ることを目的に、河道掘削を実施し事業の進捗を図ります。</p>
事業効果	<p>課題</p> <p>整備による効果</p>

流下能力が不足していることから、昭和22年7月洪水規模を安全に流下させることができない。背後は由利本荘市街地であり人口資産が集中。



○昭和22年7月洪水規模を安全に流下させることができる。(他箇所の河道掘削等含む)
 ○上流まで水位低減効果があるため、広範囲にわたって治水安全度向上に寄与。



平成14年7月洪水状況(由利橋付近)

事業名	一般国道7号 ^{つちぎき} 土崎歩道 — 整備推進
事業概要	<p>当該区間は、秋田市土崎港地区に位置し、周辺にはJR土崎駅、学校、市役所支所、郵便局、図書館等公共施設が多数存在し、秋田市交通バリアフリー基本構想における土崎地区の特定経路に指定されています。</p> <p>そのため、歩道の拡幅や段差改善などにより、高齢者や障害者等の円滑な移動及び歩行者の利便性や安全性の向上を目指します。</p> <p>今年度は用地取得及び工事を推進します。</p>
事業効果	<p style="text-align: center;">現状の問題・課題 期待される整備効果</p>

①安全・快適な歩行者通行及び自転車利用環境の整備



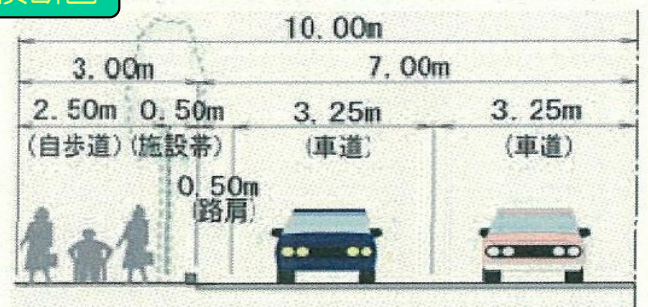
①他機関と連携した安全で快適に通行できる、面的な歩行者空間の確保およびバリアフリー整備

バリアフリー重点整備地区（土崎駅周辺）

住民の皆さんとの協働（意見交換）



現況横断面図

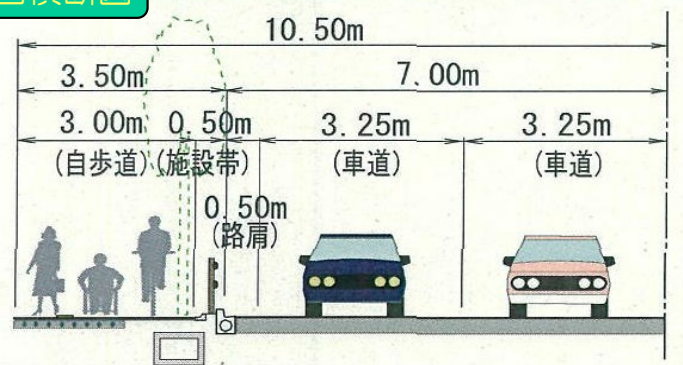


▼現況（能代市方向を望む）



歩道拡幅 段差改善 等

計画横断面図



事業名	一般国道46号 ^{そつだあらまち} 卒田荒町歩道 — 整備推進・完成
事業概要	当区間は通学路となっており、また沿線に駅や小学校等があります。しかしながら、現在の歩道の幅員及び路肩幅員が狭いことから、自転車や歩行者の路肩への迂回を発生させ、走行車両との接触機会が多く危険な状況となっています。 当区間は多雪地区でありながら、歩道幅が狭く機械による除雪ができないことから、歩道を拡幅・及び流雪溝を整備し、通学児童を含めた歩行者、自転車の安全を図ります。今年度は用地買収及び工事を推進します。

事業効果	<p>現状の問題・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ①冬期間においては、歩道機能も著しく低下、危険性が増大 ②狭隘な歩道のため、無積雪期間においても、自転車の利用環境が不十分 ③児童や高齢者の、冬期間の地域内移動困難による交流の減少 	<p>期待される整備効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ①堆雪幅の確保、流雪溝の整備による冬期間の通行安全確保 ②自歩道整備による無積雪期間の自転車の安全で快適に通行機能の確保 ③児童や高齢者年も安全、安心して通られる自歩道整備による、地域社会の機能確保
------	---	---

位置図

卒田荒町歩道事業区間

至 秋田

至 盛岡

※通学路

▼現況：除雪状況(秋田市方向を望む)

▼現況 (岩手方向を望む)

至 岩手

至 秋田

用地買収による歩道拡幅

狭隘な歩道幅員が**広幅員に**

現況横断面

9500

1000 500 3250 7500 3250 500 1000

計画横断面

14500

9500

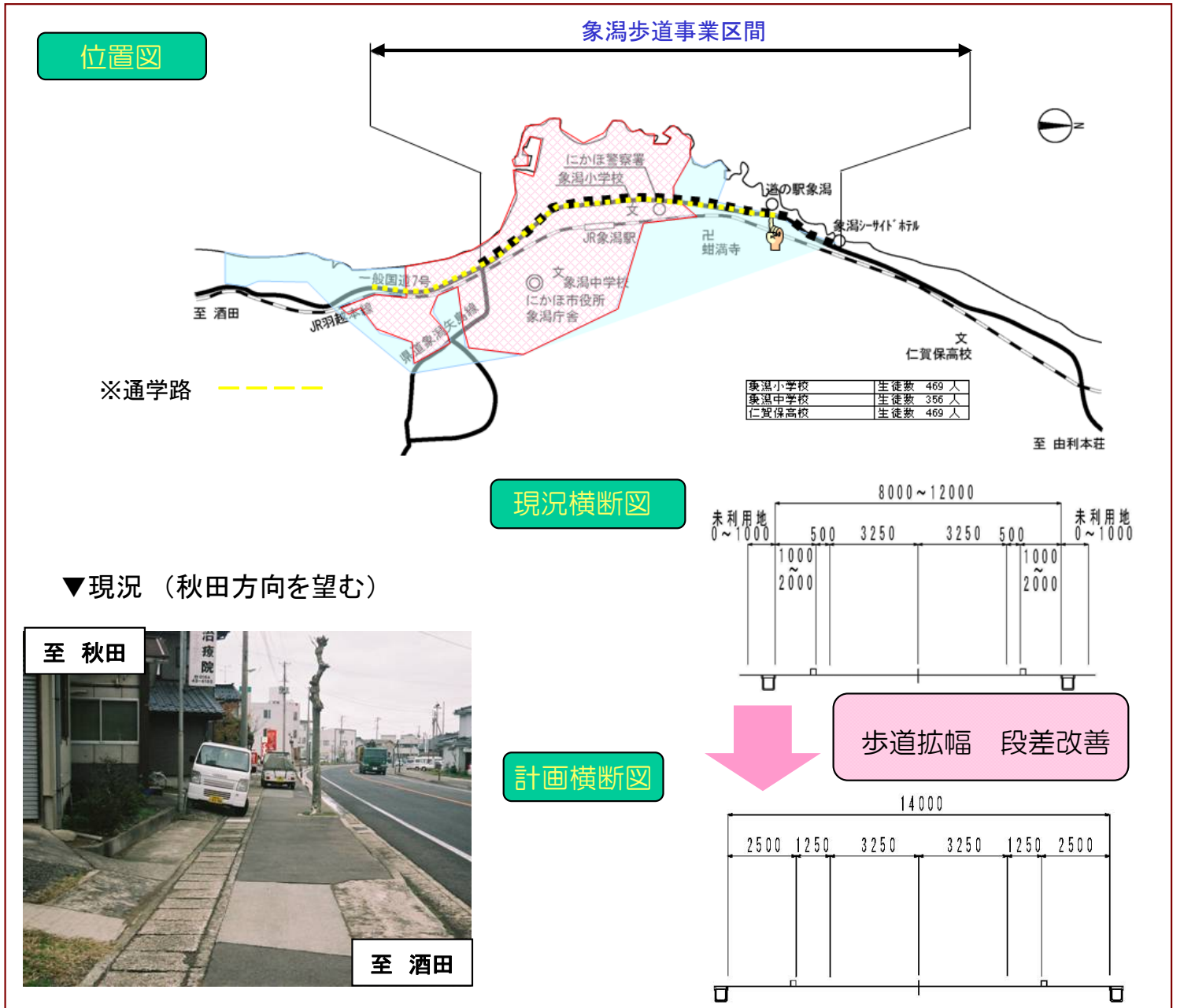
2500 1500 3250 3250 1500 2500

H22施工箇所

歩道拡幅 段差改善
耐雪幅の確保

事業名	一般国道7号 ^{きさかた} 象潟歩道 — 整備推進・完成
事業概要	<p>当該箇所は、秋田県にかほ市象潟町字上狐森～字琴和喜地区に位置し、沿線には道の駅象潟、総合病院、近隣には市役所象潟庁舎及び小・中学校があり、主に高齢者及び児童に利用されており通学路にも指定されております。</p> <p>しかし、上下線とも歩道有効幅員が確保されていないことやマウンドアップによる波打歩道のためバリアフリー化が必要な区間になっています。</p> <p>そのため、当該箇所において、自歩道の整備、波打歩道の改善により、誰もが安全かつ快適に通行可能な歩行空間を確保します。今年度は工事を推進します。</p>

事業効果	<p>現状の問題・課題</p> <p>①安全・快適な歩行者通行及び自転車利用環境の整備</p>	<p>期待される整備効果</p> <p>①安全で快適に通行できる歩行者空間の確保</p>
------	--	---



<p>事業名</p>	<p>あわせがい 一般国道13号 合貝交差点改良 ー 整備推進</p>
<p>事業概要</p>	<p>当該箇所は、秋田県大仙市協和合貝地区に位置する交差点です。多くの交通事故が発生しており、その多くは右折車に関する事故となっています。また、冬期積雪時には、勾配が急なことから大型トラックが登れない等、問題も発生していました。</p> <p>昨年度、地元代表者をまじえた意見交換会・合同点検を実施し、ご意見を伺いました。地元のみなさまからいただいた意見も参考にし、右折レーンを設置、縦断勾配の修正を実施し、交通安全の確保を図ります。</p> <p>今年度は用地買収及び工事を推進します。</p>
<p>事業効果</p>	<p>現状の問題・課題 期待される整備効果</p>

- ①右折レーンがないことによる追突事故の発生
- ②冬期積雪時の急勾配による立ち往生



- ①交通事故の削減
- ②冬期積雪時の交通確保

位置図



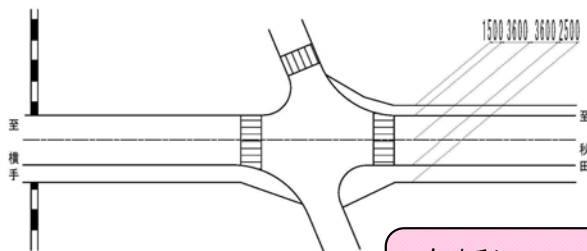
合貝交差点の現況



地元代表者との意見交換会
及び合同点検の開催

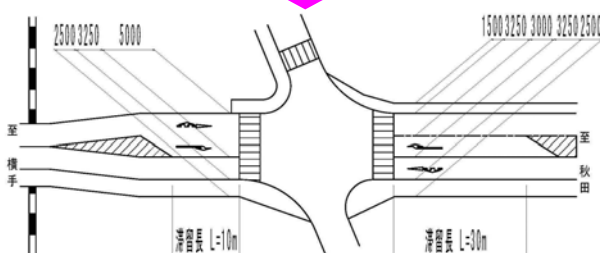


現況平面図



右折レーンの設置
縦断勾配の修正

計画平面図



地元と現地合同点検

<p>事業名</p>	<p>一般国道7号 <small>きさかたにかほ</small> 象潟仁賀保道路-整備推進 一般国道7号 <small>にかほほんじょう</small> 仁賀保本荘道路-整備推進</p>
<p>事業概要</p>	<p>一般国道7号の交通混雑の緩和や騒音など沿道環境の改善、また災害時の代替路としての機能確保などを目的に、一般国道7号の自動車専用道路の整備を進めています。 「象潟仁賀保道路L=13.7km」については、設計協議、用地買収、改良工事を推進し、琴浦川橋及び白雪川橋の上部工工事に着手します。 「仁賀保本荘道路L=12.5km」については、平成19年9月17日に開通した区間(にかほ市両前寺から本荘IC間11.2km)の南1.3kmについて、改良工事を推進します。</p>

事業効果

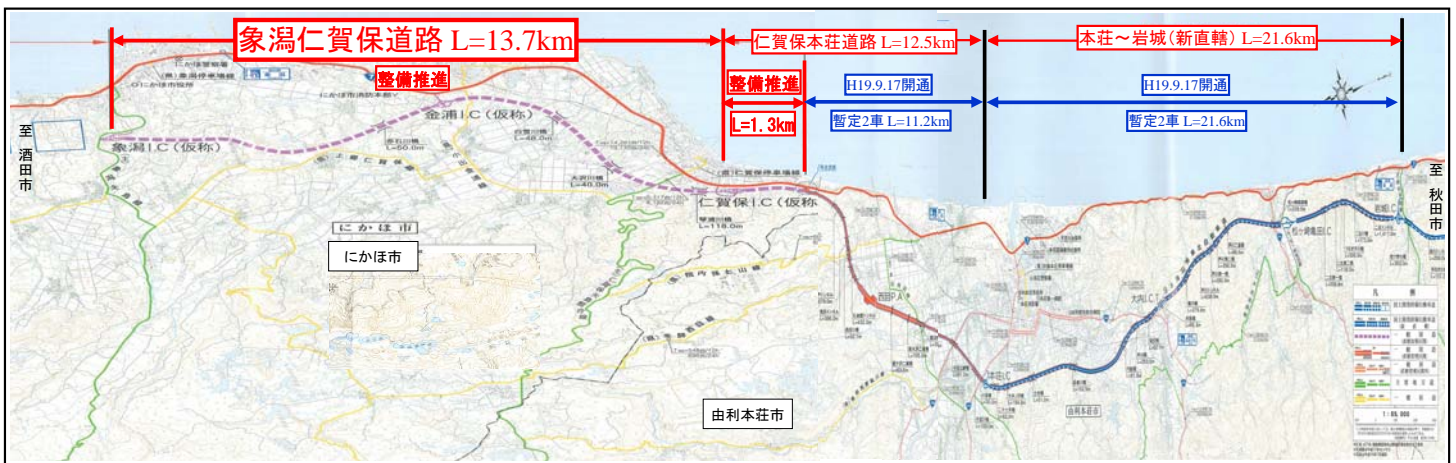
課題

整備による効果

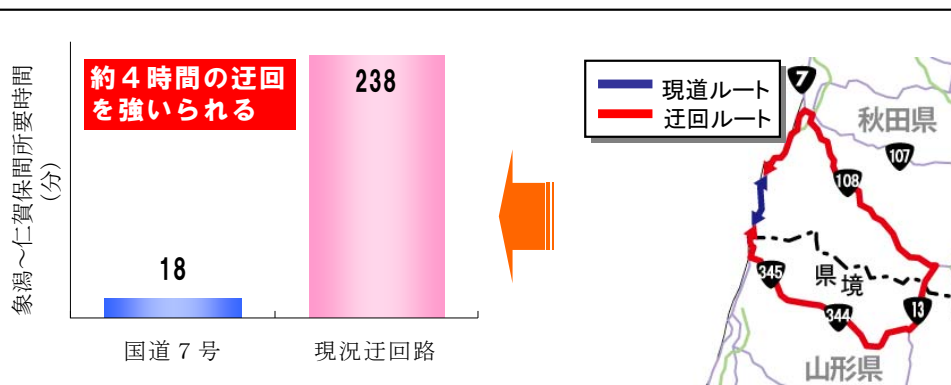
- ① 国道7号の交通混雑や騒音など、沿道環境の悪化
- ② 3次救急医療施設など秋田市内の主要施設のアクセス性の改善
- ③ 事故などによる通行止め時の大幅な迂回の発生



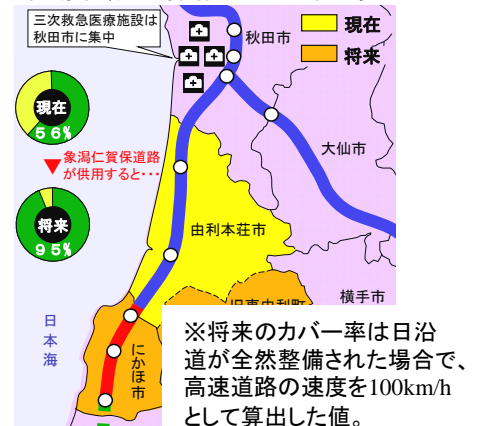
- ① 快適で活力ある社会生活の確保
- ② 安心できる生活の確保
- ③ 代替路による交通の信頼性確保



▼象潟～仁賀保間の所要時間(大型車)



▼本荘由利地域における三次救急医療施設1時間圏カバー率の変化

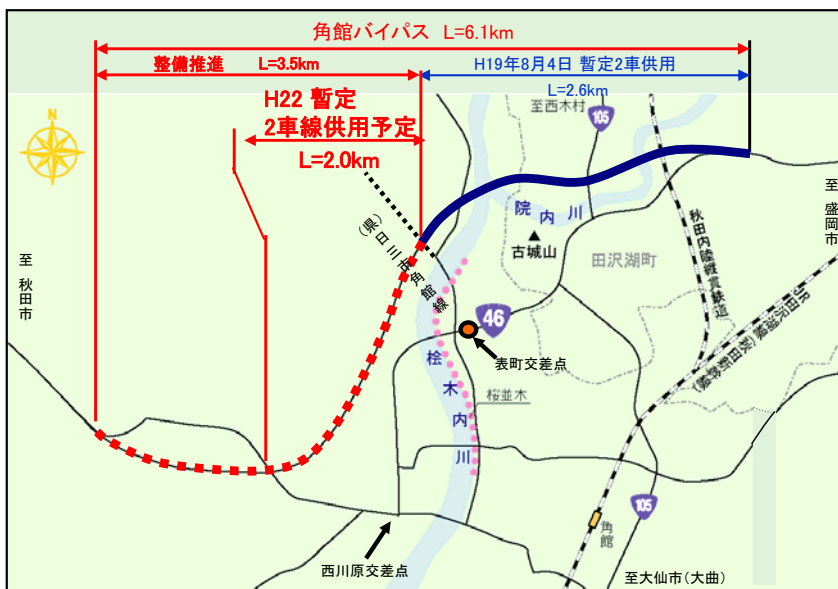


<p>事業名</p>	<p>もりおかあきた 盛岡秋田道路 一般国道46号 角館バイパス — 整備推進・一部供用 <small>かくのだて</small></p>
<p>事業概要</p>	<p>角館バイパスL=6.1kmは、秋田県と岩手県の地域間交流の促進、交通隘路(直角曲がり)の解消及び観光交通の円滑化と観光産業支援のほか、通過交通排除による現道の交通混雑の緩和などを目的に整備を進めています。 今年度は、角館町小勝田の県道日三市角館線から角館町雲然までの2.0kmについて舗装工事を完了させ、供用を図ります。また、残る終点月見堂までの1.5kmについて用地買収、改良及び橋梁工事を推進します。</p>
<p>事業効果</p>	<p>課題 整備による効果</p>

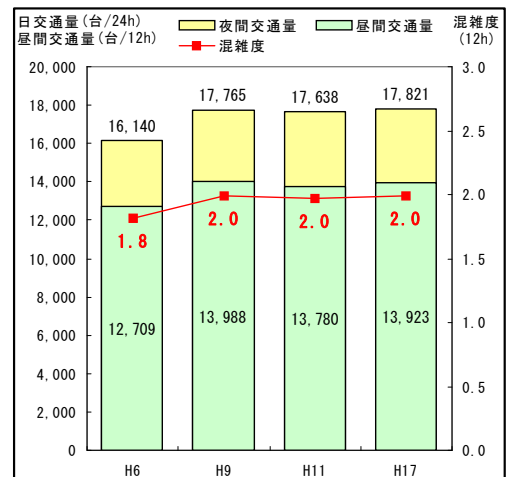
- ①国道105号との重複区間では平常時も交通が集中
- ②冬季には、幅員狭小でサービスの低下が著しい
- ③行楽シーズンには観光交通で渋滞が発生



- ①秋田～盛岡間の幹線交通が受ける渋滞損失の削減
- ②沿道の生活環境の改善、冬季道路サービスの改善
- ③歴史観光都市・角館の振興 景観に配慮した道路整備



▼現道の交通量及び混雑度の推移



▼冬期サービスレベルの低下 (国道46号西野川原交差点付近)



▼さくら祭り期間の渋滞状況 (国道46号表町交差点付近)



事業名

あきた
雄物川・秋田地区かわまちづくり整備事業 — 事業推進

事業概要

本事業では、地域と産学官が連携し、秋田の「かわ」と「まち」が有する個性を生かして地域活性化行動と周辺観光資源を結びつけ、新たな観光の魅力を引き出し、秋田地区全体の活性化を図るために「かわまちづくり」を進めています。

平成19年度から民産学官参加のワークショップによる計画づくりを進め、沿川周辺を賑わいと憩いの拠点とするため、ベンチの設置や雄物川においては賑わいを創出するため「水辺のオープンカフェ」の開催、川とまちとをつなぐ管理用通路等の整備を行いました。

今年度はワークショップを継続開催し、水遊拠点(カヌーや体験型イベントの拠点)となる三角沼において基盤整備を行います。

事業効果

課題

整備による効果

① 民産学官の協働による「かわ」と「まち」づくりによる賑わいの創造



① 「かわ」と「まち」づくりによる賑わい・新たな交流人口増による地域の活性化



事業名	しもはま 一般国道7号 下浜道路 — 整備推進
事業概要	下浜道路L=6.2kmは、国道7号秋田市下浜地区の交通渋滞の解消や沿道的生活環境の改善、観光時における観光交通と通過交通の分離及び交通事故の削減のほか、地域間の交流・連携の活性化などを目的に、平成19年度新規事業化となり、調査設計等を進めています。 今年度は、設計協議、用地買収、改良工事を推進します。
事業効果	課題 整備による効果

- ①歩道も無い2車線道路に、約2.3万台/日の交通が集中し、渋滞や騒音などによる沿道生活環境の悪化。また、冬期の歩道確保も困難
- ②付近に県内有数の海水浴場もあり、観光時の交通集中による渋滞も著しい
- ③死傷事故が発生しており、安全安心な生活環境に支障をきたしている



- ①通過交通の排除で沿道的生活環境の改善及び学童の通学環境の改善
- ②観光時には、観光交通と通過交通の分離が可能
- ③死傷事故件数の大幅な削減



▼歩道未整備区間の状況

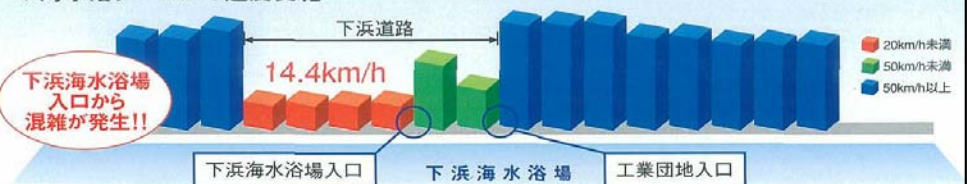
▼国道7号現況交通量の推移



▼観光シーズンの渋滞

観光シーズンは、**1.2~1.3倍**の交通量
さらに**交通混雑**が著しく!

▼海水浴シーズンの速度変化



あきたみなみ

一般国道7号 秋田南バイパス — 整備推進

事業概要

秋田南バイパスL=8.5kmは、秋田市内の交通渋滞の緩和、安全の確保、沿道環境の改善を図り、幹線道路としての機能回復を目的に計画された完成4車線のバイパスであり、昭和50年度に事業化し平成14年度に全線暫定2車線供用したものです。しかし近年の交通需要の増加に伴い新たな交通渋滞が発生しているため、秋田市新屋愛宕町から新屋三小屋までの2.2kmについて4車線化を整備するものです。
今年度は、新屋地区の舗装工事に着手します。

事業効果

課題

整備による効果

- ① 2車線道路に約2.5万台/日の交通が集中し、特に通勤時に著しい渋滞
- ② 通勤時間外においても交通混雑



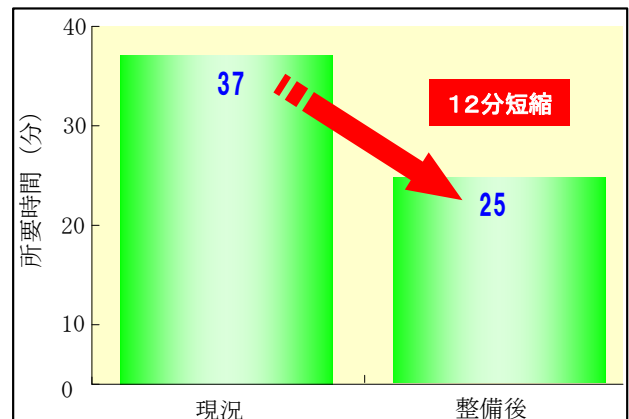
- ① 朝夕の通勤時の渋滞解消による、円滑な生活環境の確保
- ② 秋田空港や秋田港への速達性向上による、観光振興及び社会経済活動の活性化
三次救急医療施設への速達性向上による、安心な生活環境の確保



▼ 渋滞の著しい新屋こ道橋交差点



▼ 下浜地区から秋田県庁までの所要時間



事業名	かわべ 一般国道13号 河辺拡幅 — 整備推進	
事業概要	河辺拡幅L=6.6kmは、一般国道13号秋田市河辺地区の交通渋滞の解消や沿道の生活環境の改善、三次救急医療施設や秋田空港への速達性向上のほか、秋田自動車道へのアクセス性向上による地域間交流の促進を目的に整備を進めています。これまで、秋田市河辺北野田から上北手古野までの2.4kmについて供用済です。 今年度は、主要地方道秋田北野田線から河辺和田下石川地内までの600mについて改良工事を推進します。	
事業効果	課題	整備による効果

- ① 2車線道路に約2.4万台/日の交通が集中し、特に通勤時に著しい渋滞
- ② 通勤時間外においても交通混雑



- ① 朝夕の通勤時の渋滞解消による、円滑な生活環境の確保
- ② 秋田空港や秋田港への速達性向上による、観光振興及び社会経済活動の活性化
- ③ 三次救急医療施設への速達性向上による、安心な生活環境の確保



▼拡幅前の河辺地区の渋滞状況



▼拡幅後の河辺地区の交通状況



▼H13年部分供用後の渋滞長及び所要時間の変化

